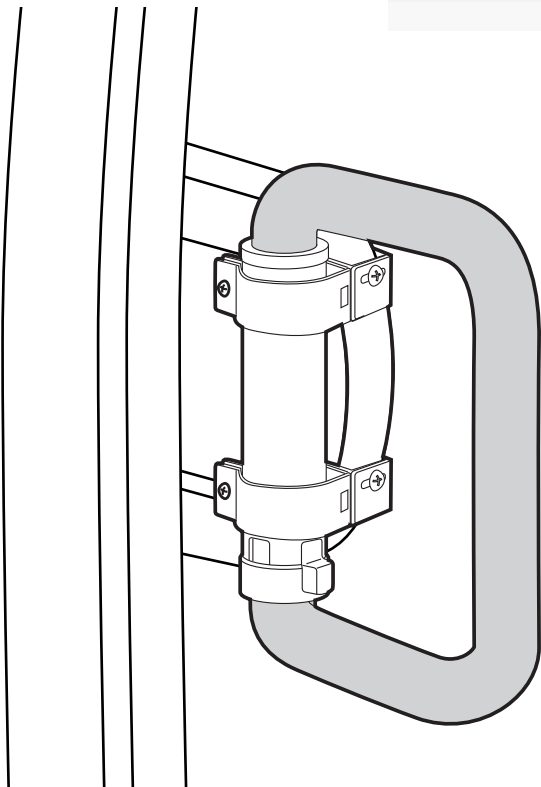


乗り降り手すり取扱説明書



特 長

- 車外～車内の乗り降りを安全に導くグリップ。
- ワンタッチで車内、外に回転。ロック付き。
- 引っかかる恐れのないサークル型。
- 感触が良く、すべりにくいエラストマー樹脂使用。
- 特殊な工具不要。(⊕ドライバー使用)

◎取付可能車 (P4参照)

安全にお使いいただくために



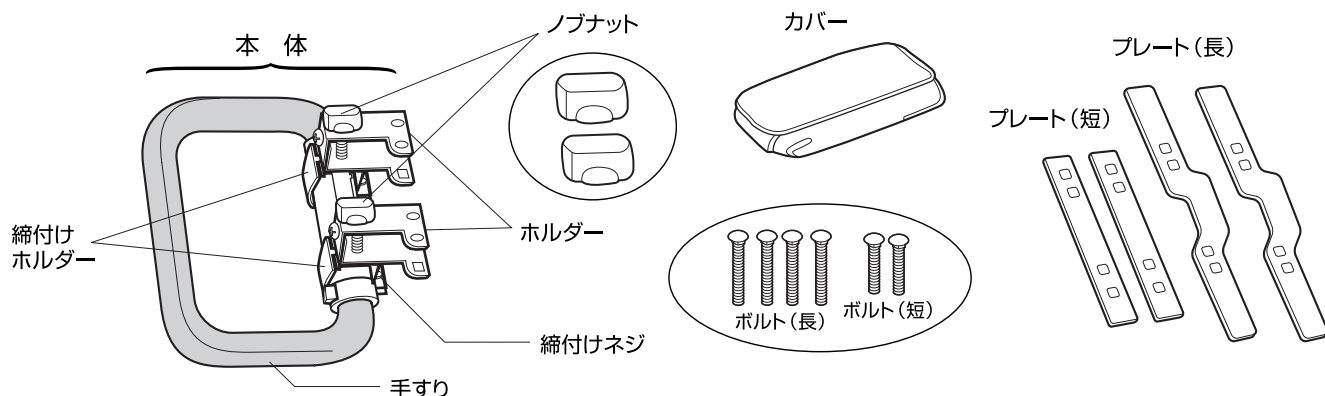
使用上の注意

- 乗り降り手すりを正しくお使いいただくために、取扱説明書を必ずお読みください。
- 乗降時補助手すりとしての用途以外に使用しないでください。
- 使用時は、必ず介助者が付き添い、使用者の身体能力に応じて補助してください。
- 取付時、使用時に可動部で手や指をはさまないように注意してください。
- 使用時、収納時は必ずロックをしてください。
- 以下の項目はすべて車のグリップが破損するおそれがありますので行わないでください。
*ぶら下がらない。*両手で持って全体重をかけない。
- 変形・破損のあるものは使用しないでください。
- ドアを閉める時は、必ず収納してください。
- 本品を取付けることにより、純正グリップに取付跡(傷)がつきます。ご了承ください。

内 容

乗り降り手すり本体 1個 プレート(短)2本 プレート(長)2本 ボルト(短)4本
 ボルト(長)4本 ノブナット4個 カバー1枚 ★2本は本体セット済
 ★2個は本体セット済

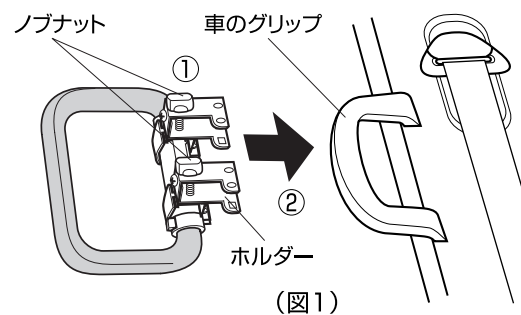
各部の名称



取付方法 (左側スライドドアのグリップに取付ける場合)

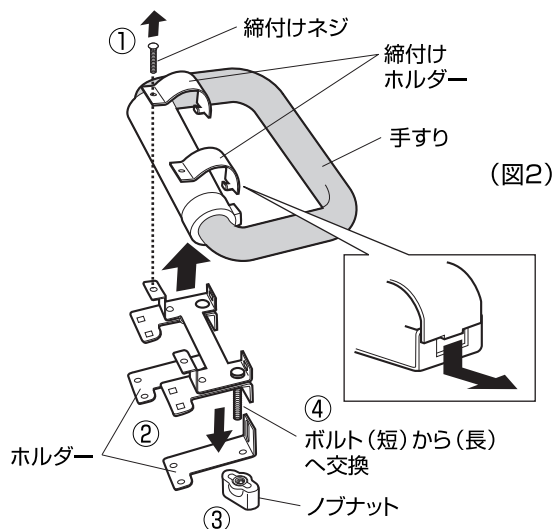
1. 使用ボルトを選択する(梱包時は、ボルト(短)がセットされています)

- ① ノブナットを上下とも緩める。(図1)
- ② 車のグリップに、ホルダーをはめられるかを確認する。(図1)
 はめられた場合：ボルト(短)をそのまま使用。
 はめられなかった場合：ボルト(長)に付け替える。



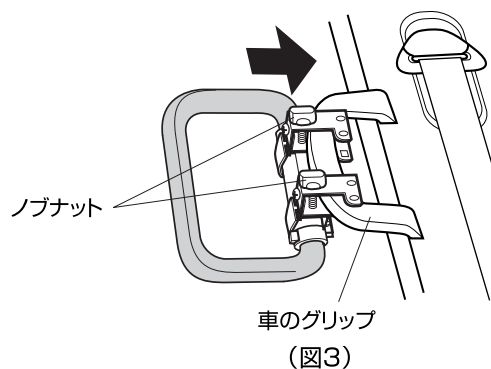
●ボルト(長)の付け替え方法 (図2)

- ① ⊕ドライバーで締付けネジをはずす。
- ② 締付けホルダーを外し、手すりをホルダーからはずす。
- ③ ノブナットをはずす。
- ④ ボルト(長)に付け替え、ノブナットを締める。
- ⑤ 手すりに締付けホルダーをつけ、締付けネジを締める。



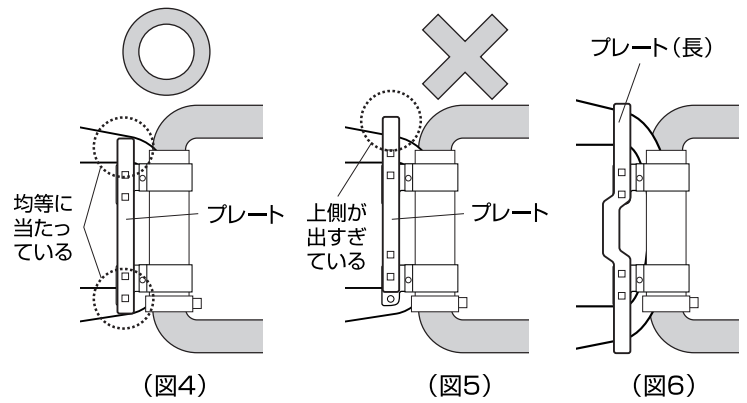
2. 車のグリップへ取付ける

- ① 車のグリップにホルダーをはめ込む。(図3)
 ● 手すりの中央が、車のグリップの中央になるようにはめる。
- ② ノブナットを仮締める。(車のグリップから落ちない程度)

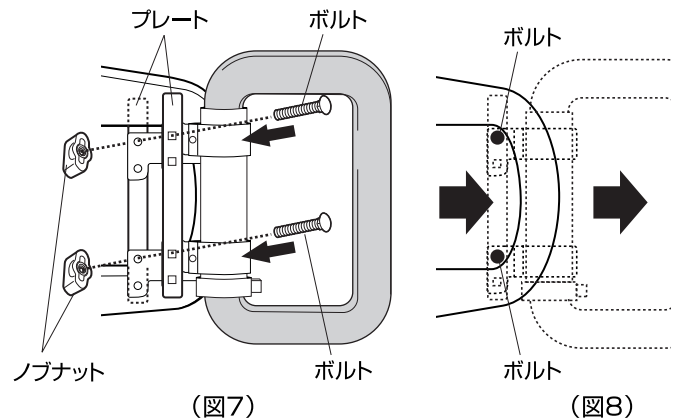


【車の外から見た図】

- ③ ホルダーの角穴側にプレート（短）の穴位置を合わせて当てる。（図4）
- 使用するボルトは2本なので、4つの角穴のうち2～3カ所が合えばよい。
- ④ 車のグリップにプレートの上下がほぼ均等に当たるように調節する。
- 上下均等に当たっていない場合（図5）> プレート（短）の上下を逆にする。
 - 上下とも全く当たっていない場合> プレート（長）に変更する。（図6）

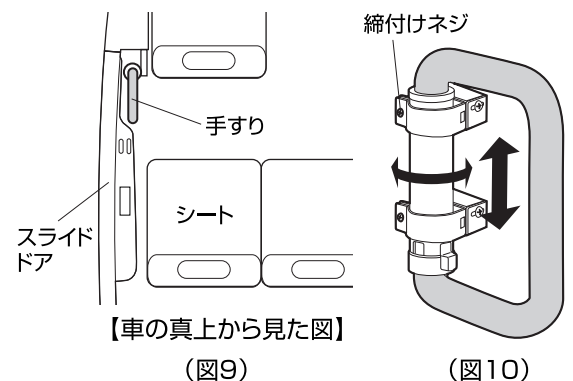


- ⑤ プレート角穴に、ボルト（短）を差し込む。（図7）
- できるだけ、プレートの上下端側にある角穴を使用する。車のグリップに当たって通らない場合は、内側の角穴を使用する。
- ⑥ 反対側も同じプレートを同じ向きで取付け、ノブナットを締め付ける。
- ボルトが短い場合は、ボルト（長）に交換して取付ける。
- ⑦ 手すり本体を水平に手前へ引き、2本のボルトを車のグリップに当てる。（図8）
- ⑧ ノブナットを締め付け、手すり本体を固定する。



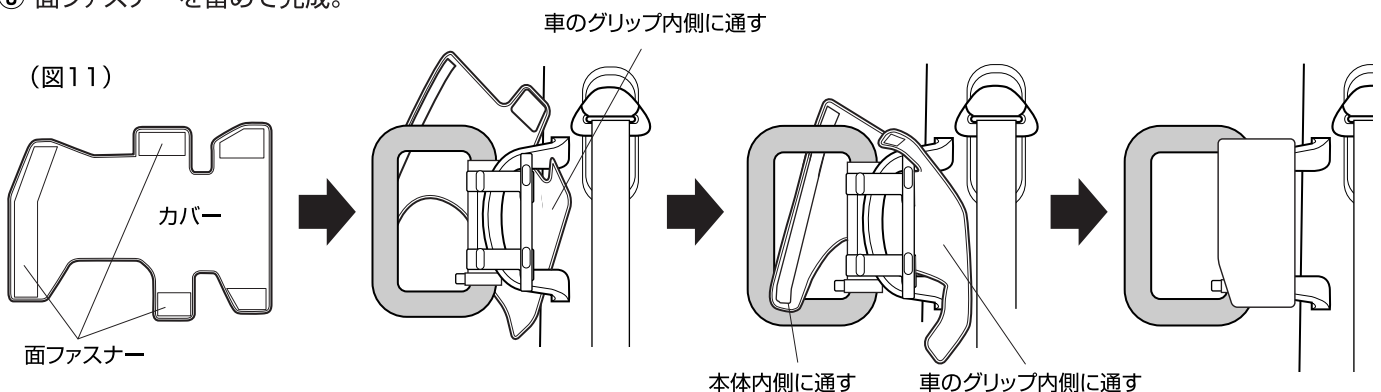
3. 位置の調整

- ① 静かにスライドドアを閉める。（電動ドアは電源をOFFにして閉める。）
- ② ドアに本体が当たらないか、内側に向きすぎていないかを確認する。（ドアにできるだけ沿った角度が使いやすい。）（図9）
- ドアに当たる場合：締付けネジを⊕ドライバーでゆるめ、本体を上にならすか、角度を調整する。
 - 内側に向きすぎている場合：締付けネジをゆるめ、角度を調整する。
- ③ 調整後、締付けネジを締め付けて固定する。（図10）
- 固定後、電動ドアの電源をONに戻す。



4. カバーの取付け（図11）

- ① カバーを車のグリップの内側に通す。
- ② 本体にカバーを巻きつける。
- ③ 面ファスナーを留めて完成。



⚠注意 安全のため、カバーは必ず本体に巻付けてください。

📖参考 乗り降り手すりは、スライドドアとグリップが右側にある車にも、取付けができます。

- 右側スライドドアのグリップに取付ける場合は、本体を上下逆にして、同様に取付けてください。この場合、ロックボタンが上側になります。

使用方法

⚠注意 乗り降り手すりの操作は介助者が行い、必ず付き添うこと。

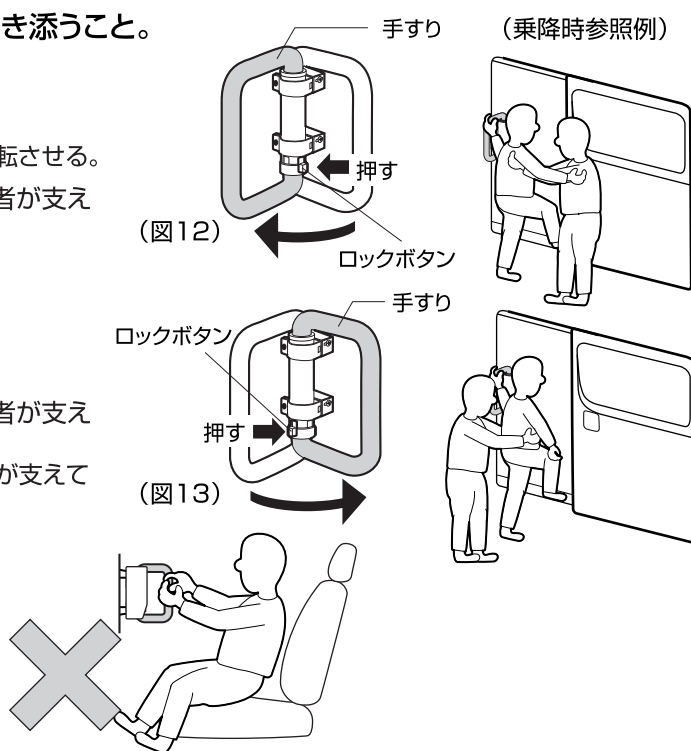
乗車時

- ① 手すりを外側に回転させる。(図12)
 - ロックボタンを押して、「カチッ」と音がするまで回転させる。
- ② 乗降者は片手で手すりをつかみ、もう片側は介助者が支えて乗り込ませる。(例参照)
- ③ 手すりを収納する。(図13)

降車時

- ① 手すりを外側に回転させる。(図12)
- ② 乗降者は片手で手すりをつかみ、もう片側は介助者が支えて降りる。(例参照)
 - 使用者が座席から起き上がりにくい場合は、介助者が支えてください。
- ③ 手すりを収納する。(図13)

⚠警告 手すりは必ず片手でつかんでください。
両手でつかんで、全体重をかけて起き上がったり、ぶらさがらないでください。破損するおそれがあります。

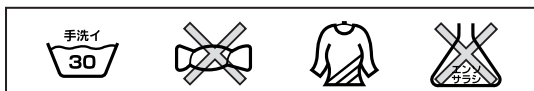


お手入れ方法

⚠注意 本品の洗浄には、シンナーなどの溶剤は使用しないでください。

⚠注意 定期的に、ネジ類にゆるみがないか確認し、増し締めを行ってください。

●カバーの洗濯方法:



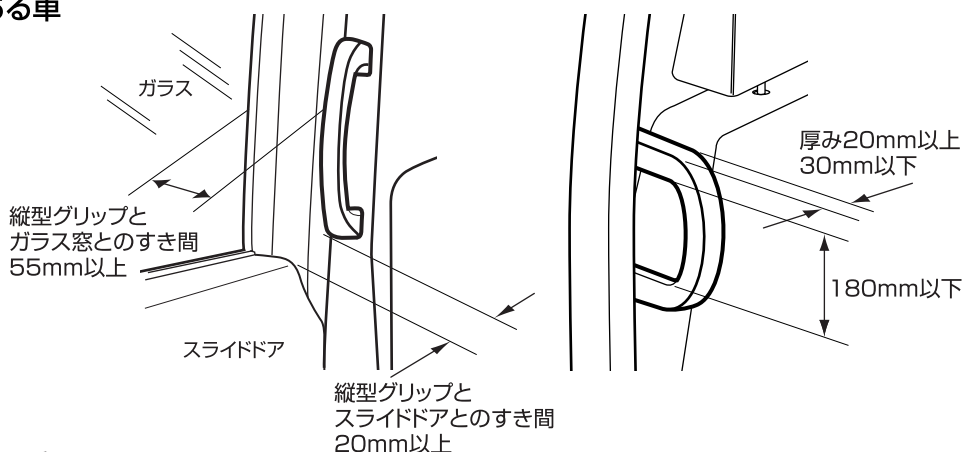
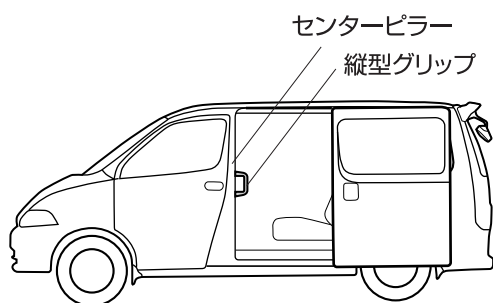
●カバーの素材: 表地 ポリエステル100%・中 ポリウレタン100%・裏地 EVA

取付可能車

⚠注意 サイドカーテンエアバッグ付き車には、取付けしないでください。

○センターピラーに縦型グリップがある車

○適合サイズは右図参照



仕 様

FK25 乗り降り手すり

材 質 : エラストマー・ABS・ポリカーボネイト・アルミ・スチール

製品サイズ: H235×W190×D80mm

製品重量: 1,000 g

株式会社 **カーメイト**

〒171-0051 東京都豊島区長崎5-33-11
<http://www.carmate.co.jp/>

●仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
●誤った使用方法での苦情には応じかねますのでご了承ください。

★商品のお問い合わせは… **カーメイトサービスセンター**

TEL03-5926-1212(代) FAX03-5926-1218

企画・設計: 日本
製造: 中国